

5/18 夫婦で多大な貢献

森部在住の海田正一さん・千恵子さんが夫婦で長年にわたりレクリエーションの普及振興に多大な功績をあげたとして、岐阜県レクリエーション協会より「レクリエーション運動普及振興功労者表彰」を受けられました。

海田さん夫婦は、26年前からバウンドテニスを始め、今でも毎週金曜日に千恵子さんが正一さんを誘って、バウンドテニスを楽しんでいます。ご夫婦は「身体を動かせるうちはずっと続けていきたいです。若い優しい仲間があり、良い環境に恵まれています」と話されました。



▲海田正一さん・千恵子さん夫婦（役場にて）

5/19 自分と家族と生活を守る

結の中組地区で15回目となる防災訓練が行われました。

今回は地震への備えについて、岐阜大学地域減災研究センター特任教授の村岡治道先生を講師に招き“地域を守る前の備え～自分と家族と生活を守っておく手順～”と題した講演が行われました。「自分や家族、家を守り切れれば、自宅で避難生活（在宅避難）ができます。それができれば、ボランティアとして、避難所の運営に回ることもできます。耐震性の確保、トイレの備えや、水・食糧・燃料の備蓄など事前の備えをしっかりしてください」と話されました。



▲災害は他人事だと思わないようにと話される村岡先生

5/29 人権教室

人権擁護委員の皆さんによる人権教室が森部こども園で行われました。

「ぞうさんのおはな」という劇で、ぞうさんのおはなが長いことをからかっていた動物たちが、みんなそれぞれ違うこと、違っていいんだと気づいて助けあっていくという内容です。

園児たちは、夢中になって劇を見ながら相手の気持ちを考えたり思いやったりすることの大切さを学びました。



▲熱心に劇を観る子どもたち

5/20~30 伝統的な作法を学びました

各こども園で茶道協会（長谷川文子会長）によるお抹茶の会が行われ、園児たちがお菓子のいただき方、抹茶の立て方や受け渡しの作法を学びました。

お菓子を美味しくいただいた後に、お友だちが立てた抹茶を口にして「美味しい」「飲んだことある」と言う園児や「少し苦い」と言う園児がいました。

お友だちが飲み終わった茶碗を片づけるところまでを行い、日本の伝統的なおもてなしの心も学びました。



▲ふたばこども園の様子